

各 会 員 様

至急 ご案内

三重県トラック協会
20.11.6

国のトラック事業者向け景気経済対策が発表され、受付が始まりました。
省エネや、新たな効率化等へのとりくみに多額の補助金が用意されています。
補助を受けるためには 受付期間が短いため、内容をご確認の上 お問い合わせ下さい。

エコドライブ管理システム(EMS)導入 補助金

デジタコやドライブレコーダを導入に補助金が出ます。
これから導入予定の会員様は、至急ご相談下さい。

内容 デジタコ、ドライブレコーダ などのEMS車載器
及び 事業所用機器 (分析ソフト、カードリーダー)

導入経費の **1/3** 補助が受けられます

リースの場合補助額が反映された低価格でのリースとなります

1. 機器の購入取付は補助の決定後に行ってください
2. 対象車両 ・ 毎月の走行距離 / 燃費使用量を把握している車
・ 装着1年以内に、代替、移転、廃車等の計画が無い車
3. 目標省エネ率 (燃費改善率) を設定します 省エネ改善率1%以上必要です



応募要件	リースの場合	買取りの場合
対象機器	・車載器 5台以上 (新規導入) ・事務所用機器 1台 / すでに導入済み の場合は 導入しなくても良いです	・車載器 40台以上 (新規導入) ・事務所用機器 1台 (新規導入)
導入方法	運輸低公害車普及機構と5年リース	販売店より直接購入
申込み先 問い合わせ	【LEVO】 (財)運輸低公害車普及機構 TEL 03-3359-8465	【国土交通省 中部運輸局】 自動車技術安全部保安・環境課 TEL 052-952-8044
締切	至急ご連絡下さい 申込は 11月10日(月) 必着です 期間内でも予算額に達した場合は締切となる場合があります	

* 別の申請により トラック協会の助成 1台2万円 の補助も受けることが可能です。

国交省 低公害車導入助成金 再開です

【国土交通省の低公害車導入促進助成】 下記の対象車両導入で助成金が支給されます

ハイブリッドトラック CNGトラック(ディーゼル車からの改造)
CNGトラック 低燃費ディーゼルトラック

低燃費ディーゼルトラック = 車両型式「BKG-」「PKG-」で始まる最大積載量4t以上(減トン前)の車
・ トラック協会助成については検討中につき決定次第お知らせいたします

【低公害車助成の要件】

- ・ 20年度中に3台以上導入する (リースでの導入は1台から可)
- ・ ただし 中小企業者 (資本金3億円以下又は従業員300人以下の事業者) については
下記のいずれかに適合していることを条件に1台導入でも可となります。
グリーン経営認証登録済み事業者 Gマーク認定済み事業者 ISO9001/14001適合組織

【対象登録日 及び 申請期間】

	ハイブリッド	CNGトラック	CNGトラック(ディーゼル車からの改造)
申請方法	車両登録日		申請締切
事後申請	H 20. 8. 1 ~ H 20.10.27		H20.11.27
	H 20.10.28 ~ H 21. 2.13		車両登録日より30日以内 または H21.2.27のいずれか早い日
事前申請	H21. 3.31		H21.2.13

低燃費ディーゼルトラック

申請方法	車両登録日	申請締切
事後申請	H20.10.28 ~ H21. 2.13	車両登録日より30日以内 または H21.2.27のいずれか早い日
事前申請	H21. 3.31	H21.2.13



【お申込/相談窓口】 中部運輸局 三重運輸支局
輸送担当 TEL 059-234-8411

価格差表示は 通常車両と比較した差額です

ハイブリッド車 (新車・リース)

最大積載量	価格差	国交省助成	全ト協助成	三ト協助成
4トン未満	980,000	490,000	検討中	検討中
4トン以上	2,750,000	1,375,000	検討中	検討中

CNG車 (新車・リース)

4トン未満	980,000	490,000	検討中	検討中
4トン以上	3,200,000	1,600,000	検討中	検討中

CNG車 (ディーゼル車からの改造)

最大積載量	価格差	国交省助成	全ト協助成	三ト協助成
4トン未満	980,000	326,000	検討中	検討中
4トン以上	3,200,000	1,066,000	検討中	検討中

低燃費車 (新車・リース)

4トン未満	200,000	100,000	検討中	検討中
4トン以上	400,000	200,000	検討中	検討中

省エネをすすめる中小事業者向け 補助

一定の省エネ効果を目指す計画を有する中小事業者の取組みについて、対策費・燃料費等経費の一部に補助があります「中小トラック事業者構造改善実証実験事業」

省エネ チャレンジ
実証 最大 実験

最大
100万円
補助金
参加募集

< 保有台数 >

5両～20両 事業者のみ対象

参加方法

平成20年12月15日から2ヵ月の間に
省エネとりくみ実証期間を設けます

5%以上の省エネとりくみ計画を作り
目標達成への努力をお願いします。

取組方法

低燃費車の導入により取り組む
EMS機器の導入により取り組む
その他省エネ機器の導入により
" 配送経路の見直しにより取り組む
共同輸配送の実施により取り組む
社内講習等の実施により取り組む

お申し込み

11月25日(火)
午前中まで
トラック協会必着

補助額

結果として5%以上省エネが達成されれば

その実証期間中のとりくみ経費や燃料費の1/2
の補助を受けることができます。

1社最高100万円 応募多数の場合は減額される場合があります
機器導入で他の国の補助金を受ける場合は対象外となります

参加条件



- ・ 直近あるいは19年度で燃料費割合が、総費用に対し概ね20%以上あること(15%以上で可)
- ・ 社会保険に加入が行われていること
(健康保険/厚生年金/労働保険)
- ・ 新たに機器を導入することが参加条件になっては
いません
- ・ なお、新たに機器を導入することを計画し、その導入
費用についても補助を受ける計画を提出した際は、
決定通知が発行されてから購入して頂きます

お申込後

- ・ 簡単な審査の後、12月中旬 決定通知が発行されます
- ・ 2ヶ月間の実証実験報告書を3月に提出後、補助金が交付されます
- ・ 但し 省エネ改善率4%未満であった場合補助はありません

荷主等パートナーシップ強化に補助金

荷主と運送事業者 あるいは 運送事業者の間での
パートナーシップ強化により、積載率向上や実車
率の向上等を図るなど、事業構造を改善する新た
な取組みについて補助金が用意されています。

物流効率向上へ協働で取組みを!(実証実験)

20年12月～21年2月末くらいの任意
の期間で実証期間を設定します。
積載率・実車率・回転率・収益率・
燃料使用量など、実施前と実施後の
具体的に数値で結果を検証します。

【補助額】

実証実験 必要経費の1/2
上限額の設定はありません

ただし 応募多数の場合は
減額される場合があります

【対象経費】 実証のための経費

調査費、運行経費、施設使用料
人件費、システム開発・導入費など
実証実験に要す費用

* 土地建物取得の補助はありません

【お申込後】

1. 簡単な審査の後、随時交付決定通知が発行されます。
2. 実証実験を開始し、21年3月実績報告を提出頂きます。
3. 21年4月 補助金が交付されます。
なお、改善効果が実証されない場合は補助金は交付されません

各制度のお申込について

申請書を 国土交通省ホームページより 印刷

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/sesaku/environment/cng/h20h/index.htm>

または トラック協会にご連絡いただき お取り寄せ下さい

お問い合わせ

トラック協会に おたずね下さい

津 059-227-6767 (本部) 四日市 059-353-4522 (北部SC)

広報とらっく11月1日号にも関連内容の記載があります。あわせてご覧下さい

参加募集中

21年1月7日(水)

中部運輸局必着

対象となる事案の例

荷主 または 他の運送事業者と協働で
効率化、燃費向上に取り組む下記事業

積載率や実車率向上の取組み
輸送形態見直しによる消費燃料削減の取組
提案型の物流一括請負への取組み
ユニークビジネス開拓
上記以外の輸送効率、燃費向上への取組み
など

具体的には

- ・ 運送事業者どうしが提携し共同集荷・
共同配送を行う
- ・ 発荷主・着荷主それぞれの取引先拠点に
おいて集荷/配達が行われている現状を
改め、物流センターを利用した拠点統合
在庫集約、輸送経費・使用燃料削減に取
組み、より効率的な物流を実現する等